

福井県病院事業会計

はじめに

1 事業の概要

本事業は、県立病院および県立すこやかシルバー病院の運営を行っているものである。

県立病院は、本県における基幹病院として、救急医療をはじめ、一般身体疾患の高度医療および精神疾患の早期治療から社会復帰までの一貫した精神医療の提供を行うとともに、生活習慣病の早期発見と早期治療のための総合病院である。

県立すこやかシルバー病院は、認知症高齢者に対し診断治療しながら処遇の判断を行うとともに、デイ・ケアサービスや家族への介護教育を行うなど、医療・保健・福祉の各分野における総合的サービスを提供する認知症疾患の専門病院である。

なお、県立すこやかシルバー病院の運営・管理については、平成18年度から指定管理者制度に基づき、一般財団法人認知症高齢者医療介護教育センターが行っている。

(1) 利用者の状況

2病院の延患者数は617,759人で、前年度に比べ14,704人(△2.3%)減少している。

(単位：人、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
延入院患者数	282,795	301,523	△18,728	△6.2
延外来患者数	328,335	323,856	4,479	1.4
ドック利用者数	6,629	7,084	△455	△6.4
延患者数	617,759	632,463	△14,704	△2.3

(2) 経営状況

2病院の平成25年度の総収益は19,521,901,204円、総費用は20,374,237,886円、純損失は852,336,682円であり、前年度に比べ415,742,212円(95.2%)増加している。

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
総収益	19,521,901,204	19,904,219,892	△382,318,688	△1.9
総費用	20,374,237,886	20,340,814,362	33,423,524	0.2
純損失	852,336,682	436,594,470	415,742,212	95.2
前年度繰越欠損金	15,121,182,679	14,684,588,209	436,594,470	3.0
当年度未処理欠損金	15,973,519,361	15,121,182,679	852,336,682	5.6

(この表は、損益計算書の収益および費用の総計で、消費税および地方消費税抜き。)

2 予算および決算の状況

2病院の収益的収支および資本的収支の予算および決算の状況（消費税および地方消費税を含む。）は、次のとおりである。

収益的収支の予算および決算

（単位：円）

区 分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B+C) - A
収 入	19,857,751,000	19,570,429,171	—	△ 287,321,829
支 出	20,848,503,000	20,416,225,119	0	△ 432,277,881

資本的収支の予算および決算

（単位：円）

区 分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B+C) - A
収 入	3,292,882,000	3,240,066,218	—	△ 52,815,782
支 出	4,304,344,000	4,205,993,291	0	△ 98,350,709
収支差	—	△ 965,927,073	—	—

資本的収入額が資本的支出額に対して不足している 965,927,073 円については、過年度損益勘定留保資金で補てんされている。

なお、福井県病院事業会計の審査の結果および意見については、病院ごとの利用状況、経営状況、予算および決算の状況等を表示し、次に述べる。

1 県立病院

1 利用者の状況

平成 25 年度末現在、中央医療センター、がん医療センター、救命救急センター、母子医療センター、こころの医療センター、健康診断センター、陽子線がん治療センターの 7 センターで構成され、20 の診療科および 961 床の病床を有している。

平成 25 年度の延患者数は 581,997 人、前年度に比べ 10,363 人(△1.7%)減少している。

病床利用率は 72.8%、前年度に比べ、4.4 ポイント下回っている。

また、患者 1 人 1 日当たりの診療収入については、入院が 46,362 円で前年度に比べ 1,986 円(4.5%)増加し、外来が 13,445 円で前年度に比べ 482 円(3.7%)増加している。

平成 25 年度は、平均在院日数の短縮化等により患者 1 人 1 日当たりの診療収入は増加しているが、その一方、延入院患者数の減少による減収額が患者 1 人 1 日当たりの診療収入の増加による増収額を上回っているため、入院収益が大きく減少している。今後は、地域連携を図りながら紹介患者を積極的に受け入れるなどして新入院患者を増やし、病床利用率の向上に努められたい。

また、外来患者については、平成 25 年 4 月に移転拡充したがん医療センターを利用する患者や陽子線がん治療患者が増加した。今後も、特に関西・北陸圏のメディア等への積極的な働きかけ等により、さらなる利用者の増加を期待する。

(単位：床、人、%、円)

		平成 25 年度	平成 24 年度	対前年度比較	
				増 減	増減率
入院	稼働病床数	961	961	0	0.0
	延患者数	255,501	270,767	△ 15,266	△ 5.6
	病床利用率	72.8	77.2	△ 4.4	—
	患者 1 人 1 日当たり診療収入	46,362	44,376	1,986	4.5
外来	延患者数	319,867	314,509	5,358	1.7
	うち延陽子線がん治療患者数	6,278	4,142	2,136	51.6
	1 日平均患者数	1,310	1,283	27	2.1
	患者 1 人 1 日当たり診療収入	13,445	12,963	482	3.7
ドック	利用者数	6,629	7,084	△ 455	△ 6.4
延患者数合計		581,997	592,360	△ 10,363	△ 1.7

2 経営状況

総収益は18,787,019,119円、総費用は19,642,869,421円、純損失は855,850,302円であり、前年度に比べ422,964,838円(97.7%)増加している。

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
総収益	18,787,019,119	19,097,140,888	△310,121,769	△1.6
医業収益	16,671,528,479	16,644,686,808	26,841,671	0.2
医業外収益	2,115,490,640	2,452,006,516	△336,515,876	△13.7
特別利益	0	447,564	△447,564	皆減
総費用	19,642,869,421	19,530,026,352	112,843,069	0.6
医業費用	18,552,247,071	18,346,947,723	205,299,348	1.1
医業外費用	1,084,329,144	1,091,127,262	△6,798,118	△0.6
特別損失	6,293,206	91,951,367	△85,658,161	△93.2
純損失	855,850,302	432,885,464	422,964,838	97.7
前年度繰越欠損金	15,528,555,659	15,095,670,195	432,885,464	2.9
当年度未処理欠損金	16,384,405,961	15,528,555,659	855,850,302	5.5

(この表は、損益計算書の収益および費用の総計で、消費税および地方消費税抜き。)

(1) 医業損益

医業収益は 16,671,528,479 円、前年度に比べ 26,841,671 円 (0.2%) 増加している。これは、延入院患者数の減少により入院収益が減少したものの、陽子線がん治療を始めとした高度な治療を必要とする外来患者の増加により、外来収益が大きく増えた結果、医業収益全体としては前年度並みとなったものである。

医業費用は 18,552,247,071 円、前年度に比べ 205,299,348 円 (1.1%) 増加している。これは、高度医療に係る薬品費および手術件数の増加に伴う診療材料費の増加が主な要因であるが、平成 24 年度に更新した器械備品等に係る減価償却費の増加、平成 25 年度に器械備品等を更新したことに伴う除却備品等に係る資産減耗費の増加も影響している。平成 25 年 7 月からの職員給与の減額措置に伴い給与費は減少したが、医業費用全体としては増加した。

その結果、医業損失は 1,880,718,592 円となっている。

これらの数値からも、入院収益の確保が望まれるところである。

(単位：円、%)

	平成 25 年度	平成 24 年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
医業収益	16,671,528,479	16,644,686,808	26,841,671	0.2
入院収益	11,845,644,575	12,015,656,437	△ 170,011,862	△ 1.4
外来収益	4,300,917,140	4,077,033,388	223,883,752	5.5
その他医業収益	524,966,764	551,996,983	△ 27,030,219	△ 4.9
医業費用	18,552,247,071	18,346,947,723	205,299,348	1.1
給与費	8,956,667,023	8,973,393,844	△ 16,726,821	△ 0.2
材料費	4,381,075,286	4,224,768,889	156,306,397	3.7
経費	2,903,681,213	2,883,470,863	20,210,350	0.7
減価償却費	2,190,635,210	2,158,552,184	32,083,026	1.5
資産減耗費	55,063,098	42,657,241	12,405,857	29.1
研究研修費	65,125,241	64,104,702	1,020,539	1.6
医業損失	1,880,718,592	1,702,260,915	178,457,677	10.5

(2) 医業外損益

医業外収益は2,115,490,640円、前年度に比べ336,515,876円(△13.7%)減少している。これは、高度な治療を必要とする患者が増加する中で、収益を確保しながら経費削減に努めた結果として、高度医療に係る繰入金が大きく減少したものである。

医業外費用は1,084,329,144円、前年度に比べ6,798,118円(△0.6%)減少している。これは主に、企業債償還に伴う支払利息が大きく減少したものである。

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
医業外収益	2,115,490,640	2,452,006,516	△336,515,876	△13.7
受取利息配当金	7,003,621	4,406,503	2,597,118	58.9
補助金	23,815,003	28,920,951	△5,105,948	△17.7
患者外給食収益	17,774,186	20,093,462	△2,319,276	△11.5
その他医業外収益	257,594,238	276,341,888	△18,747,650	△6.8
繰入金	1,809,303,592	2,122,243,712	△312,940,120	△14.7
医業外費用	1,084,329,144	1,091,127,262	△6,798,118	△0.6
支払利息および企業債取扱諸費	552,038,958	579,706,902	△27,667,944	△4.8
繰延勘定償却	133,650,009	128,737,746	4,912,263	3.8
患者外給食諸費	15,264,054	16,979,867	△1,715,813	△10.1
保育所運営費	20,185,480	19,945,480	240,000	1.2
関連教育病院実習費	7,649,382	7,929,327	△279,945	△3.5
雑損失	355,541,261	337,827,940	17,713,321	5.2
医業外利益	1,031,161,496	1,360,879,254	△329,717,758	△24.2

(3) 特別損益

特別利益は、平成25年度はなかった。

特別損失は、回収不能となり不納欠損処分した医療費患者負担金および国庫補助金の額の確定に伴う過年度返還金として、過年度損益修正損6,293,206円を計上している。平成24年度には厚生労働省等による医科特定共同指導に係る診療報酬等の自主返還金を計上していたが、この分が大きく減少したものである。

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
特別損失	6,293,206	91,503,803	△85,210,597	△93.1
特別利益	0	447,564	△447,564	皆減
特別損失	6,293,206	91,951,367	△85,658,161	△93.2

(4) 経常損益および純損益

以上の結果、医業損失 1,880,718,592 円に医業外利益 1,031,161,496 円を加えた経常損失は 849,557,096 円となり、特別損失を差し引いた平成 25 年度の純損失は 855,850,302 円となっている。

損 益 比 較 (単位：円、%)

	平成 25 年度	平成 24 年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
医 業 損 失	1,880,718,592	1,702,260,915	178,457,677	10.5
医業収益	16,671,528,479	16,644,686,808	26,841,671	0.2
医業費用	18,552,247,071	18,346,947,723	205,299,348	1.1
医 業 外 利 益	1,031,161,496	1,360,879,254	△ 329,717,758	△ 24.2
医業外収益	2,115,490,640	2,452,006,516	△ 336,515,876	△ 13.7
医業外費用	1,084,329,144	1,091,127,262	△ 6,798,118	△ 0.6
経 常 損 失	849,557,096	341,381,661	508,175,435	148.9
特 別 損 失	6,293,206	91,503,803	△ 85,210,597	△ 93.1
特別利益	0	447,564	△ 447,564	皆減
特別損失	6,293,206	91,951,367	△ 85,658,161	△ 93.2
純 損 失	855,850,302	432,885,464	422,964,838	97.7

3 経営成績（事業の収益性）

本事業の収益性を示す比率は、次のとおりである。

総収支比率は、前年度を2.2ポイント下回り、95.6%となっている。

医業収支比率は、前年度を0.8ポイント下回り、89.9%となっている。

いずれの比率も前年度と比較して低下しており、累積欠損金を増加させる結果となっている。

収 益 性 の 状 況 (単位：%)

項 目	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
総収支比率 (総収益/総費用)	95.6	97.8	97.0	97.8	93.8
医業収支比率 (医業収益/医業費用)	89.9	90.7	89.0	91.6	87.4

※ 総収支比率は、損益計算上、総体の収益で総体の費用を賄うことができるかどうかを示し、この比率が高いほど純利益率が高いことを表す。

数値が100%未満の場合は、損失が生じていることを意味する。

※ 医業収支比率は、総収支から医業外収支、特別損益を除き、病院本来の活動である医業（医療）部門の経済活動に着目した収益分析であり、数値が100%未満の場合は、医業活動部門で損失が生じていることを意味する。

4 財政状態

(1) 資産の状況

資産合計は47,904,827,789円、前年度に比べて1,855,428,874円(4.0%)増加している。主な要因は、平成16年の新病院開院時に整備した器械備品の更新によるものである。

未収金の主なものは、平成26年2月～3月分の診療報酬2,355,142,713円を含む医業未収金2,653,006,051円であり、前年度に比べ10,435,354円(△0.4%)減少している。

(単位：円、%)

	平成25年度末 現 在 高	平成24年度末 現 在 高	対前年度比較	
			増 減 額	増減率
固 定 資 産	36,548,723,972	35,644,970,300	903,753,672	2.5
有形固定資産	36,512,663,201	35,606,752,965	905,910,236	2.5
土地	1,961,512,947	1,961,512,947	0	0.0
建物	24,688,806,471	26,075,585,922	△ 1,386,779,451	△ 5.3
構築物	210,723,240	259,642,060	△ 48,918,820	△ 18.8
器械備品	9,609,170,206	7,277,919,420	2,331,250,786	32.0
車両	7,978,337	4,870,616	3,107,721	63.8
建設仮勘定	7,250,000	0	7,250,000	皆増
その他有形固定資産	27,222,000	27,222,000	0	0.0
無形固定資産	32,407,271	33,247,835	△ 840,564	△ 2.5
投資	3,653,500	4,969,500	△ 1,316,000	△ 26.5
流 動 資 産	10,275,590,345	9,277,591,359	997,998,986	10.8
現金預金	7,385,460,476	6,008,614,552	1,376,845,924	22.9
未収金	2,751,315,166	3,143,858,535	△ 392,543,369	△ 12.5
うち医業未収金	2,653,006,051	2,663,441,405	△ 10,435,354	△ 0.4
貯蔵品	130,814,703	117,118,272	13,696,431	11.7
その他流動資産	8,000,000	8,000,000	0	0.0
繰延勘定	1,080,513,472	1,126,837,256	△ 46,323,784	△ 4.1
控除対象外消費税額	1,080,513,472	1,126,837,256	△ 46,323,784	△ 4.1
資 産 合 計	47,904,827,789	46,049,398,915	1,855,428,874	4.0

なお、医業未収金のうち医療費の患者負担金の状況は、平成 25 年度末現在 243,525,061 円であり、前年度に比べ 29,601,050 円 (△10.8%) 減少している。

特に、未払い患者への早期電話督促や再診時の面談等により、新たな未収金発生の未然防止に努めた結果、現年度分の患者負担未収金が前年度に比べて減少している。

県立病院では、平成 12 年度より未収金回収専門嘱託員を配置し、債権の早期回収に努めているほか、平成 22 年度からは回収困難な未収金について弁護士法人に債権回収を委託しており、平成 25 年度においては 5,766,215 円の回収委託実績を上げている。

平成 26 年 2 月に県総務部税務課を事務局とする「税外未収入金縮減対策会議」が設置され、その中で編成された対策チームの一員として県立病院も加わっており、未収金回収の具体的な取組方針等を設定している。今後、情報やノウハウの共有が促進され、未収金の一層の回収につながることを期待する。

	平成 25 年度	平成 24 年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
現年度分 A	104,285,567	124,503,483	△ 20,217,916	△ 16.2
うち3月末定期請求分	33,925,840	48,327,430	△ 14,401,590	△ 29.8
過年度分 B	145,018,700	153,822,462	△ 8,803,762	△ 5.7
不納欠損額 C	5,779,206	5,199,834	579,372	11.1
年度末未収金合計 (A+B-C)	243,525,061	273,126,111	△ 29,601,050	△ 10.8

(2) 負債の状況

負債合計は3,480,765,929円、前年度に比べ395,722,643円(12.8%)増加している。

(単位:円、%)

	平成25年度末 現 在 高	平成24年度末 現 在 高	対前年度比較	
			増 減 額	増減率
固定負債	1,358,078,618	1,180,485,659	177,592,959	15.0
退職給与引当金	1,358,078,618	1,180,485,659	177,592,959	15.0
流動負債	2,122,687,311	1,904,557,627	218,129,684	11.5
未払金	1,504,613,299	1,264,497,720	240,115,579	19.0
未払費用	528,538,041	567,169,776	△ 38,631,735	△ 6.8
その他流動負債	89,535,971	72,890,131	16,645,840	22.8
負債合計	3,480,765,929	3,085,043,286	395,722,643	12.8

(3) 資本の状況

資本合計は44,424,061,860円、前年度に比べ1,459,706,231円(3.4%)増加している。

(単位:円、%)

	平成25年度末 現 在 高	平成24年度末 現 在 高	対前年度比較	
			増 減 額	増減率
資本金	32,845,526,424	34,516,830,572	△ 1,671,304,148	△ 4.8
自己資本金	1,702,910,339	1,702,910,339	0	0.0
借入資本金	31,142,616,085	32,813,920,233	△ 1,671,304,148	△ 5.1
剰余金	11,578,535,436	8,447,525,057	3,131,010,379	37.1
資本剰余金	27,900,445,044	23,913,584,363	3,986,860,681	16.7
利益剰余金	△ 16,321,909,608	△ 15,466,059,306	△ 855,850,302	△ 5.5
資本合計	44,424,061,860	42,964,355,629	1,459,706,231	3.4

5 予算および決算の状況

収益的収支および資本的収支の予算および決算の状況（消費税および地方消費税を含む。）は、次のとおりである。

収益的収支の予算および決算

（単位：円）

区 分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B+C) - A
収 入	19,108,414,000	18,835,372,114	—	△ 273,041,886
支 出	20,100,453,000	19,684,681,682	0	△ 415,771,318

資本的収支の予算および決算

（単位：円）

区 分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B+C) - A
収 入	3,213,466,000	3,160,650,218	—	△ 52,815,782
支 出	4,180,221,000	4,081,871,890	0	△ 98,349,110
収支差	—	△ 921,221,672	—	—

資本的収入額が資本的支出額に対して不足している 921,221,672 円については、過年度損益勘定留保資金で補てんされている。

6 一般会計繰入金の状況

一般会計からの繰入金は 4,391,032,710 円、前年度に比べ 361,805,618 円（9.0%）増加している。

このうち、収益的収入分は、1,809,303,592 円、前年度に比べ 312,940,120 円（△ 14.7%）減少している。この主な要因は、がん医療センターおよび陽子線がん治療センターに係る高度医療に要する経費に対する負担金の減少によるものである。

また、資本的収入分は 2,581,729,118 円、前年度に比べ 674,745,738 円（35.4%）増加している。この主な要因は、企業債償還元金および医療機器等の更新に係る負担金の増加によるものである。

（単位：円、%）

区 分	平成25年度末 現 在 高	平成24年度末 現 在 高	対前年度比較		
			増 減 額	増減率	
一 般 会 計 繰 入 金	収益的収入	1,809,303,592	2,122,243,712	△ 312,940,120	△ 14.7
	負担金	1,440,974,032	1,753,935,615	△ 312,961,583	△ 17.8
	補助金	368,329,560	368,308,097	21,463	0.0
	資本的収入	2,581,729,118	1,906,983,380	674,745,738	35.4
	負担金	2,581,729,118	1,906,983,380	674,745,738	35.4
	計	4,391,032,710	4,029,227,092	361,805,618	9.0

7 資金の状況

(1) 資金収支

資金の収支は、受入資金 29,290,020,449 円に対し支払資金 21,904,559,973 円、差引き 7,385,460,476 円が現金預金として翌年度へ繰越されている。

(単位：円、%)

区分	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
受入資金	29,290,020,449	27,029,279,507	2,260,740,942	8.4
支払資金	21,904,559,973	21,020,664,955	883,895,018	4.2
差引	7,385,460,476	6,008,614,552	1,376,845,924	22.9

(注) この表の数値は、当該年度中の資金収支の状況であり、受入資金には前年度繰越金を含む。

(2) 年度末資金の推移

(単位：千円)

項目	年度				
	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
① 現金預金残高	7,385,460	6,008,614	4,802,325	3,572,661	2,456,081
② 未収金	2,751,315	3,143,858	2,767,343	2,747,286	2,527,621
③ 有価証券	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
④ 未払金	2,033,151	1,831,667	1,476,002	1,253,296	1,242,403
⑤ 預り金	89,535	72,890	78,646	91,331	91,162
年度末資金①+②+③-④-⑤	8,022,089	7,255,915	6,023,020	4,983,320	3,658,137

(注) この表の各区分の数値は、3月31日現在の資金の状況である。

8 審査意見

県立病院の決算書類は、関係諸帳簿および証拠書類の計数と符合して正確であり、財務に関する書類についても関係法令に準拠し、概ね適正に執行されているものと認める。

平成 25 年度は、昨年度と比較すると延入院患者数は減少したものの、高度な治療を要する外来患者数の増加等により、医業収益は昨年度並みの収益を確保した。しかし、その治療に要する材料費等の医業費用が増加した結果、純損失は大きく増加した。

全体としては、いずれの収支比率も昨年度に比べて低下し、経営の改善が求められるところである。特に企業債償還利息や減価償却費等が費用全体の 14% を占めており、機器の更新や建物の改修等により今後もこれらの費用負担が継続することは避けられない。また、平成 26 年度からの新公営企業会計基準の見直しにより、必要となる退職給付引当金の計上が義務化されたことから、今後の費用の増加は必至である。このような状況の中で、まずは患者数を増加させ、費用の発生に見合う以上の収益を確保することが課題であると言える。特に、入院患者数の増加に向けては、県内医療機関への積極的な紹介依頼の働きかけや、紹介医と当院医師とが協力して一貫診療を行うための開放型病床を効率的に活用するなど、地域連携を図りながら新入院患者を増やし、病床利用率の向上に努められたい。

また、平成 28 年度に導入予定の 7 対 1 看護体制に向けては、看護職員 90 人程度の増員を予定しており、その人材確保に積極的に努められ、医療の質的向上を推進していただきたい。また、増員により給与費等の増加が見込まれることから、導入までの期間においては、入院患者数の増加や一層の経費節減等を図る必要がある。県立病院におかれては、今後の収支を慎重に見通した上で、経営の健全化に努められたい。

陽子線がん治療センターにおいては、患者数も目標数以上に増加している。新たな治療室の運用も開始し、さらに乳がん治療の適用拡大に向けた研究を進めるなど、先進医療の充実にも努力していることから、今後さらなる治療実績を上げられることを期待する。また、平成 25 年 4 月のがん医療センターの移転拡充により、化学療法を受診する患者の利便性が向上し、今後の収益増加も期待したいところである。

未収となっている医療費の患者負担金については、債権回収に努めており、ここ数年着実に減少している。今後も、新たな未収金を発生させないよう、早期督促や再診時の面談等により未然防止するとともに、引き続き弁護士法人等への委託や専門嘱託員による債権の早期回収に努められ、さらなる成果を上げられたい。また、税外未収金縮減対策チームの一員として回収方法や情報等の共有が促進されることで、未収金の一層の回収につながることを期待する。

今後ともより一層、県民への質の高い医療の提供に積極的に取り組み、県立病院の掲げる理念と基本方針に沿って、県民に信頼される本県の基幹病院としての役割を果たしていくよう要望する。

II 県立すこやかシルバー病院

1 利用者の状況

当院は、指定管理者制度に基づき、一般財団法人認知症高齢者医療介護教育センターが管理・運営を行っている。

平成25年度末現在、100床の病床を有している。

平成25年度の延患者数は35,762人、前年度に比べ4,341人(△10.8%)減少している。

病床利用率は74.8%、前年度を9.5ポイント下回っている。

また、患者1人1日当たりの診療収入については、入院が14,433円で前年度に比べ164円(1.1%)増加し、外来が10,080円で前年度に比べ1,433円(△12.4%)減少している。

特に延入院患者数については、1割以上の減少となっている。これは、認知症対応型グループホームや介護付有料老人ホームなど、地域における受け皿となる各種介護施設が整備されてきたことにより、早期退院が促進されたことによるものである。

今後は、地域のかかりつけ医の専門性も向上している中で、地域の医療機関や介護施設等との連携を図りながら患者数の確保に努めていきたい。

(単位：床、人、%、円)

		平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
				増	減
入院	病床数	100	100	0	0.0
	延患者数	27,294	30,756	△3,462	△11.3
	病床利用率	74.8	84.3	△9.5	-
	患者1人1日当たり診療収入	14,433	14,269	164	1.1
外来	延患者数	8,468	9,347	△879	△9.4
	うちデイ・ケア延患者数	2,900	3,274	△374	△11.4
	1日平均患者数	35	38	△3	△9.0
	患者1人1日当たり診療収入	10,080	11,513	△1,433	△12.4
延患者数合計		35,762	40,103	△4,341	△10.8

(注) 年間外来診療日数は、平成25年度 244日、平成24年度 245日である。

2 経営状況

総収益は734,882,085円、総費用は731,368,465円で、純利益は3,513,620円であり、前年度に比べ7,222,626円著しく増加している。平成25年度は純利益を計上したものの、収益・費用ともに前年度に比べて減少している。

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
総収益	734,882,085	807,079,004	△72,196,919	△8.9
医業収益	479,292,095	546,478,185	△67,186,090	△12.3
医業外収益	255,589,990	260,600,819	△5,010,829	△1.9
総費用	731,368,465	810,788,010	△79,419,545	△9.8
医業費用	644,958,822	719,481,620	△74,522,798	△10.4
医業外費用	86,409,643	91,306,390	△4,896,747	△5.4
純利益	3,513,620	△3,709,006	7,222,626	著増
前年度繰越利益余剰金	407,372,980	411,081,986	△3,709,006	△0.9
当年度未処分利益余剰金	410,886,600	407,372,980	3,513,620	0.9

(この表は、損益計算書の収益および費用の総計で、消費税および地方消費税抜き。)

(1) 医業損益

医業収益は479,292,095円、前年度に比べ67,186,090円(△12.3%)減少し、医業費用は644,958,822円、前年度に比べ74,522,798円(△10.4%)減少している。

結果として、医業損失は165,666,727円となっている。

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
医業収益	479,292,095	546,478,185	△67,186,090	△12.3
入院収益	393,933,361	438,861,654	△44,928,293	△10.2
外来収益	85,358,734	107,616,531	△22,257,797	△20.7
医業費用	644,958,822	719,481,620	△74,522,798	△10.4
経費	591,769,346	666,519,633	△74,750,287	△11.2
減価償却費	53,189,476	52,505,548	683,928	1.3
資産減耗費	0	456,439	△456,439	皆減
医業損失	165,666,727	173,003,435	△7,336,708	△4.2

(2) 医業外損益

医業外収益は 255,589,990 円、前年度に比べ 5,010,829 円 (△1.9%) 減少し、医業外費用は 86,409,643 円、前年度に比べ 4,896,747 円 (△5.4%) 減少している。

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
医業外収益	255,589,990	260,600,819	△ 5,010,829	△ 1.9
受取利息配当金	3,330,000	3,748,240	△ 418,240	△ 11.2
負担金交付金	1,225,714	4,434,286	△ 3,208,572	△ 72.4
その他医業外収益	335,276	171,293	163,983	95.7
繰入金	250,699,000	252,247,000	△ 1,548,000	△ 0.6
医業外費用	86,409,643	91,306,390	△ 4,896,747	△ 5.4
支払利息および企業債取扱諸費	79,856,313	84,995,549	△ 5,139,236	△ 6.0
繰延勘定償却	5,979,302	5,880,589	98,713	1.7
雑損失	574,028	430,252	143,776	33.4
医業外利益	169,180,347	169,294,429	△ 114,082	△ 0.1

(3) 経常損益および純損益

以上の結果、医業損失 165,666,727 円に医業外利益 169,180,347 円を加えた経常利益は 3,513,620 円となり、平成 25 年度純利益も 3,513,620 円となっている。

損 益 比 較

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
医業損失	165,666,727	173,003,435	△ 7,336,708	△ 4.2
医業収益	479,292,095	546,478,185	△ 67,186,090	△ 12.3
医業費用	644,958,822	719,481,620	△ 74,522,798	△ 10.4
医業外利益	169,180,347	169,294,429	△ 114,082	△ 0.1
医業外収益	255,589,990	260,600,819	△ 5,010,829	△ 1.9
医業外費用	86,409,643	91,306,390	△ 4,896,747	△ 5.4
経常利益	3,513,620	△ 3,709,006	7,222,626	著増
純利益	3,513,620	△ 3,709,006	7,222,626	著増

3 経営成績（事業の収益性）

本事業の収益性を示す比率は、次のとおりである。

総収支比率は、前年度を1.0ポイント上回り、100.5%となっている。

医業収支比率は、前年度を1.7ポイント下回り、74.3%となっている。

収 益 性 の 状 況 (単位：%)

項 目	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
総収支比率 (総収益/総費用)	100.5	99.5	101.7	101.0	99.5
医業収支比率 (医業収益/医業費用)	74.3	76.0	76.2	75.1	73.4

※ 総収支比率は、損益計算上、総体の収益で総体の費用を賄うことができるかどうかを示し、この比率が高いほど純利益率が高いことを表す。

数値が100%未満の場合は、損失が生じていることを意味する。

※ 医業収支比率は、総収支から医業外収支、特別損益を除き、病院本来の活動である医業（医療）部門の経済活動に着目した収益分析であり、数値が100%未満の場合は、医業活動部門で損失が生じていることを意味する。

4 財政状態

(1) 資産の状況

資産合計は3,370,661,451円であり、前年度に比べ44,566,504円(△1.3%)減少している。

未収金の主なものは、平成26年1月～3月分の診療報酬108,602,075円を含む医業未収金124,366,284円であり、前年度に比べ1,484,202円(△1.2%)減少している。

(単位：円、%)

	平成25年度末 現 在 高	平成24年度末 現 在 高	対前年度比較	
			増減額	増減率
固定資産	1,692,873,404	1,749,412,654	△ 56,539,250	△ 3.2
有形固定資産	1,692,582,204	1,749,121,454	△ 56,539,250	△ 3.2
建物	1,612,092,631	1,648,556,798	△ 36,464,167	△ 2.2
構築物	19,767,323	20,294,641	△ 527,318	△ 2.6
器械備品	60,670,634	80,218,399	△ 19,547,765	△ 24.4
車両	51,616	51,616	0	0.0
無形固定資産	291,200	291,200	0	0.0
流動資産	1,667,768,825	1,650,054,777	17,714,048	1.1
現金預金	1,540,329,681	1,516,504,588	23,825,093	1.6
未収金	124,439,144	130,550,189	△ 6,111,045	△ 4.7
うち医業未収金	124,366,284	125,850,486	△ 1,484,202	△ 1.2
その他流動資産	3,000,000	3,000,000	0	0.0
繰延勘定	10,019,222	15,760,524	△ 5,741,302	△ 36.4
控除対象外消費税額	10,019,222	15,760,524	△ 5,741,302	△ 36.4
資 産 合 計	3,370,661,451	3,415,227,955	△ 44,566,504	△ 1.3

なお、医業未収金のうち医療費の患者負担金の状況は、平成25年度末現在15,764,209円であり、前年度に比べ802,881円(△4.8%)減少している。

平成25年度においては過年度分の未収金が大きく減少しており、評価できる。今後も長期未収金の解消に向け、着実な債権回収に取り組んでいただきたい。

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
現年度分 A	13,126,219	13,142,531	△ 16,312	△ 0.1
うち3月末定期請求分	4,522,590	4,382,150	140,440	3.2
うち指定管理者3月領収分	4,721,602	5,045,671	△ 324,069	△ 6.4
過年度分 B	2,637,990	3,424,559	△ 786,569	△ 23.0
年度末未収金合計(A+B)	15,764,209	16,567,090	△ 802,881	△ 4.8

(2) 負債の状況

負債合計は3,000,000円、前年度に比べ262,949円(△8.1%)減少している。

(単位:円、%)

	平成25年度末 現在高	平成24年度末 現在高	対前年度比較	
			増減額	増減率
流動負債	3,000,000	3,262,949	△262,949	△8.1
未払金	0	262,949	△262,949	皆減
その他流動負債	3,000,000	3,000,000	0	0.0
負債合計	3,000,000	3,262,949	△262,949	△8.1

(3) 資本の状況

資本合計は3,367,661,451円、前年度に比べ44,303,555円(△1.3%)減少している。

(単位:円、%)

	平成25年度末 現在高	平成24年度末 現在高	対前年度比較	
			増減額	増減率
資本金	1,765,797,625	1,884,921,026	△119,123,401	△6.3
自己資本金	74,808,965	74,808,965	0	0.0
借入資本金	1,690,988,660	1,810,112,061	△119,123,401	△6.6
剰余金	1,601,863,826	1,527,043,980	74,819,846	4.9
資本剰余金	1,172,977,226	1,101,671,000	71,306,226	6.5
利益剰余金	428,886,600	425,372,980	3,513,620	0.8
資本合計	3,367,661,451	3,411,965,006	△44,303,555	△1.3

5 予算および決算の状況

収益的収支および資本的収支の予算および決算の状況（消費税および地方消費税を含む。）は、次のとおりである。

収益的収支の予算および決算（県立すこやかシルバー病院）（単位：円）

区分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B+C) - A
収入	749,337,000	735,057,057	—	△ 14,279,943
支出	748,050,000	731,543,437	0	△ 16,506,563

資本的収支の予算および決算（県立すこやかシルバー病院）（単位：円）

区分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B+C) - A
収入	79,416,000	79,416,000	—	0
支出	124,123,000	124,121,401	0	△ 1,599
収支差	—	△ 44,705,401	—	—

資本的収入額が資本的支出額に対して不足している 44,705,401 円については、過年度損益勘定留保資金で補てんされている。

6 一般会計繰入金の状況

一般会計からの繰入金は 330,115,000 円、前年度に比べ 1,878,000 円 (0.6%) 増加している。

このうち、収益的収入分は 250,699,000 円、前年度に比べ 1,548,000 円 (△0.6%) 減少している。

また、資本的収入分は 79,416,000 円、前年度に比べ 3,426,000 円 (4.5%) 増加している。

(単位：円、%)

区分	平成 25 年度末 現在高	平成 24 年度末 現在高	対前年度比較		
			増減額	増減率	
一般 会計 繰入 金	収益的収入	250,699,000	252,247,000	△ 1,548,000	△ 0.6
	負担金	250,699,000	252,247,000	△ 1,548,000	△ 0.6
	資本的収入	79,416,000	75,990,000	3,426,000	4.5
	負担金	79,416,000	75,990,000	3,426,000	4.5
	計	330,115,000	328,237,000	1,878,000	0.6

7 資金の状況

(1) 資金収支

資金の収支は、受入資金 2,337,437,890 円に対し支払資金 797,108,209 円、差引き 1,540,329,681 円が現金預金として翌年度へ繰越されている。

(単位：円、%)

区分	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
受入資金	2,337,437,890	2,401,158,035	△ 63,720,145	△ 2.7
支払資金	797,108,209	884,653,447	△ 87,545,238	△ 9.9
差引	1,540,329,681	1,516,504,588	23,825,093	1.6

(注) この表の数値は、当該年度中の資金収支の状況であり、受入資金には前年度繰越金を含む。

(2) 年度末資金の推移

(単位：千円)

項目	年度				
	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
① 現金預金残高	1,540,329	1,516,504	1,506,576	1,433,023	1,365,575
② 未収金	124,439	130,550	141,743	131,696	125,589
③ 有価証券	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
④ 未払金	0	262	0	0	0
⑤ 預り金	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
年度末資金①+②+③-④-⑤	1,664,768	1,646,792	1,648,319	1,564,719	1,491,164

(注) この表の各区分の数値は、3月31日現在の資金の状況である。

8 審査意見

県立すこやかシルバー病院の決算書類は、関係諸帳簿および証拠書類の計数と符合して正確であり、財務に関する書類についても関係法令に準拠し、概ね適正に執行されているものと認める。

平成25年度は、患者数の減少に伴い収益が減少したが、それ以上に費用も大きく減少した結果、純利益を計上した。

しかしながら、病床利用率が大きく低下しており、入院患者の確保が課題である。

今後とも指定管理者に対し、経費の節減や医療スタッフの確保など県民サービスの充実に取り組むほか、今後予想されている認知症高齢者の更なる増加に対応できる専門医療の提供や介護教育の一層の充実、他の介護関連施設や地域のかかりつけ医等との連携強化により、認知症疾患の専門病院としての機能を十分発揮し、患者数の増加につなげるよう指導されたい。

1年以上未収となっていた医療費の患者負担金については、粘り強い交渉の結果、当該未収金が減少したことは評価できる。今後も長期未収金の解消に向けた債権回収の取り組みに期待したい。